

令和6年度

第63回長野県中学校総合体育大会

南信地区大会卓球競技 開催要項（様式）

- 1 期 日 【予選会(各郡)】 令和6年6月 8日(土)、6月 9日(日)
【南信決勝会場】 令和6年6月22日(土)、6月23日(日)

- 2 競技役員 競技委員長 宇佐見 和也(飯田西中)
競技副委員長 入高西 義准(諏訪:富士見中)
未 定 (上伊那: 中)
加藤 慎 (下伊那:緑ヶ丘中)
※各予選会、決勝会場の役員及び係は、実施要項に記載

- 3 大会運営スタッフ
スポーツボランティア【長野県柔道整復師会南信支部】
南信地区卓球部部員(補助員生徒)

4 会 場

	期 日	種 目	会 場
予選会(諏訪)1日目	6月 8日(土)	団体戦	岡谷市民総合体育館(東体育館)
予選会(諏訪)2日目	6月 9日(日)	個人戦	岡谷市民総合体育館(東体育館)
予選会(上伊那)1日目	6月 8日(土)	団体戦	エレコムロジテックアリーナ
予選会(上伊那)2日目	6月 9日(日)	個人戦	エレコムロジテックアリーナ
予選会(下伊那)1日目	6月 8日(土)	団体戦	高森町民体育館
予選会(下伊那)2日目	6月 9日(日)	個人戦	高森町民体育館
決勝会場1日目	6月22日(土)	団体戦	岡谷市民総合体育館(スワンドーム)
決勝会場2日目	6月23日(日)	個人戦	岡谷市民総合体育館(スワンドーム)

5 競技規則(規定)

- 現行の日本卓球ルール及び本大会要項に準じて行う。ただし、タイムアウト制は適用しない。大会の使用球は、JTТА公認のホワイトボール(ニッタクプレミアムクリーン球)とする。
- 団体戦、個人戦共に「3ゲームズ先取の5ゲームズマッチ」であるが、会場によっては「2ゲームズ先取の3ゲームズマッチ」を部分的に使う場合もある。
- 本大会は、第62回長野県中学校総合体育大会の地区予選を兼ねる。
県大会出場権については男女共に、**団体戦:上位4チーム、個人戦:上位16名**とする。
- 決勝会場への参加数、組合せについては、各地区の参加チーム数・参加人数から専門委員長会で決定する。(詳細は実施要項に記載)

6 競技方法

(1) 団体戦

- 1次リーグ→トーナメントで行う。
- 4単1複、ダブルスを3番に行う。試合はすべて3点先取とする。ただし1次リーグにおいては時間がある限り5番までやってよい。
- 1校の選手登録は10名以内とし、試合毎に1校6名でチームを編成する。(選手は、単・複の両方に出場することはできない。)予選会のみ6名に満たなくても参考出場することを認めるが、1、2番は相手チームの不戦勝となる。4名に満たない場合は原則参加できない。
- 試合の前に、試合コートで監督はオーダーの交換をする。(トス…勝ち監督が進行、負け監督が試合記録)選手読み上げは1校全て読み上げてから相手校を読み上げる。(※感染症対策、時短のために読み上げは行わない場合もある)
- 審判は対戦校より次のように出す。
 - トス勝チーム側より1・3・5番の主審。2・4番の副審。
 - トス負チーム側より2・4番の主審。1・3・5番の副審。
- トス負監督は、本部より試合結果記入用紙を受け取り全ゲームの記録を記入する。試合終了後、両監督が記録用紙にサインをし、試合に勝ったチームの監督が本部に提出する。
- ゲーム間の休息は1分以内とし、監督・アドバイザーのアドバイスを受けることができる。

- ⑧アドバイザーとして、次のうちの1名のベンチ入りを認める。学校長の承認を得た当該校の教員・外部指導者、部活動指導員または生徒。選手は、ベンチを離れてアドバイスを受けることはできない。
- ⑨抗議権は、監督のみ。ただし監督が男女両チームを兼ねていて不在の場合は、特例としてキャプテンに抗議権を認める。キャプテンが試合中の場合は副キャプテンに権利を認める。
- ⑩監督は教員または部活動指導員が務める。アドバイザーは教員、部活動指導員、外部指導者が務める。団体戦申し込み名簿に申請されている者のみとする。部活動指導員に依頼する場合は、団体戦申し込み名簿の下の欄に学校長の承認が必要。外部指導者に依頼する場合は、外部指導者承認証が別紙必要。（長野県中学校体育連盟ホームページからダウンロード可）

＜リーグ戦による順位の付け方＞

勝ち点・・・勝：2点、負：1点、棄権：0点

※勝ち点が同点の場合は、該当校間で次の手順で決めていく

- ①直接対決の結果（該当校が2校の場合）
- ②マッチ率・・・勝ち数÷負け数
- ③ゲーム率・・・得ゲーム数÷失ゲーム数

(2) 個人戦

- ①トーナメント戦で行う。
- ②本部からの放送により進める場合と、タイムテーブルで進める場合がある。タイムテーブルがある場合は試合の5分前にはコートに入る。前の試合が遅れている場合は前の試合が終わり次第試合に入る。
- ③1試合目は割当校の審判、2試合目以降は敗者審判で行う。敗者は、記録用紙を本部に届けた後、試合を行ったコートの審判をする。
- ④決勝会場のみ、承認を受けたアドバイザーのアドバイスを1分間以内で受けることができる。アドバイザーについては必ず申し込み名簿に申請すること。
- ⑤複数の選手が、同じアドバイザーからアドバイスを受けることができるが、選手はコート陣地を離れることはできない。また、選手が一試合の中でアドバイスを受けることができるのは一人である。（途中でアドバイザーを交代することはできない）
- ⑥抗議権は選手のみ。
- ⑦アドバイザーを部活動指導員に依頼する場合は、団体戦申し込み名簿の下の欄に学校長の承認が必要。外部指導者に依頼する場合は、外部指導者承認証が別紙必要。（長野県中学校体育連盟ホームページからダウンロード可）

(3) 応援について

- ①インプレー中の応援は禁止。インプレー外の応援の内容は拍手のみとし、アドバイスのような内容は禁止。
 - ②団体戦では、座って応援すること。
 - ③団体戦で、次に試合をする選手は立って準備をしてよいが、ボールを使つての準備は避ける。
- ## (4) 休憩、タイムアウト、中断について
- ①休憩は、ゲーム間の1分以内。アドバイスを受けられる。（上記参照） タオルの使用は、6ポイントごとと、5ゲーム目に一方の選手の得点が先に5点に達したときのみ。
 - ②タイムアウトは、適用しない。
 - ③選手の事故などによる中断は最大10分を目安とし、審判は速やかに時間を測定し、審判長に申し出ること。

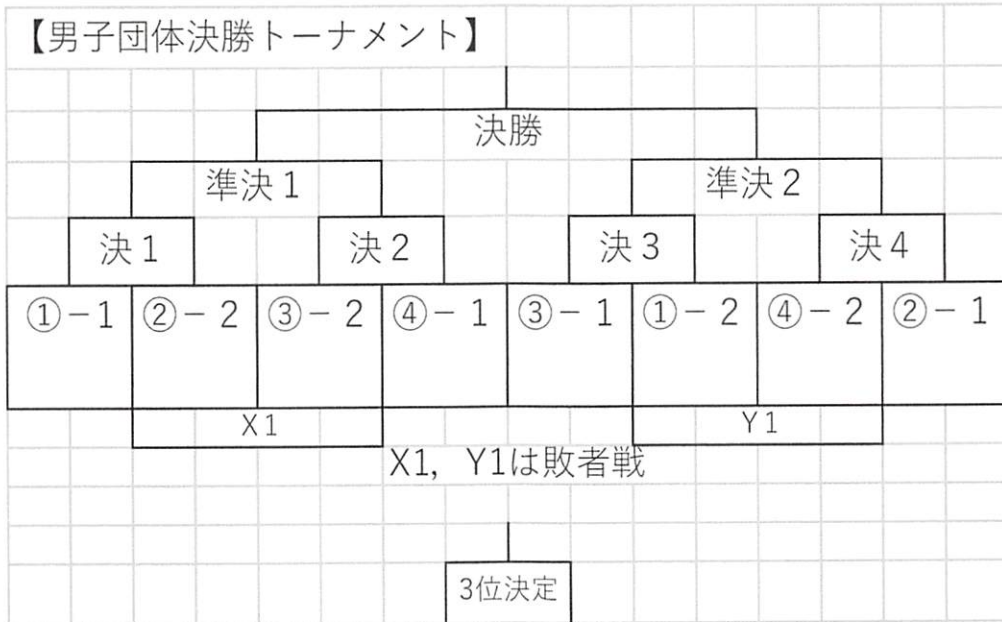
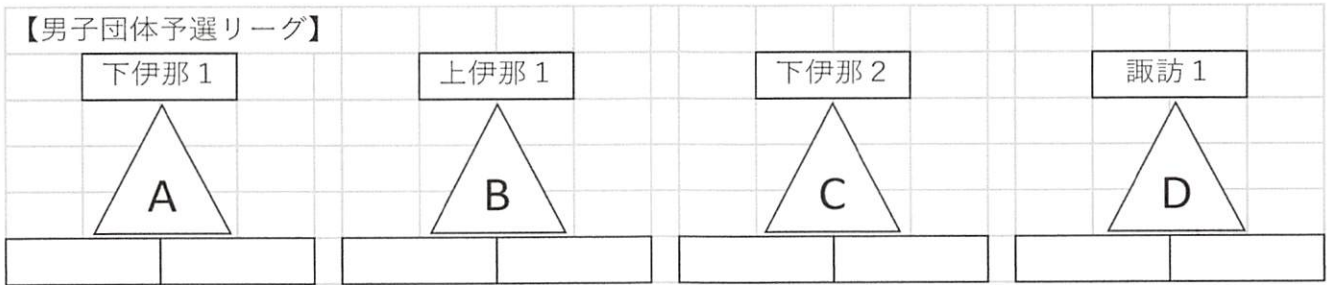
7 表彰

決勝会場のみ。団体戦、個人戦共に上位4位まで

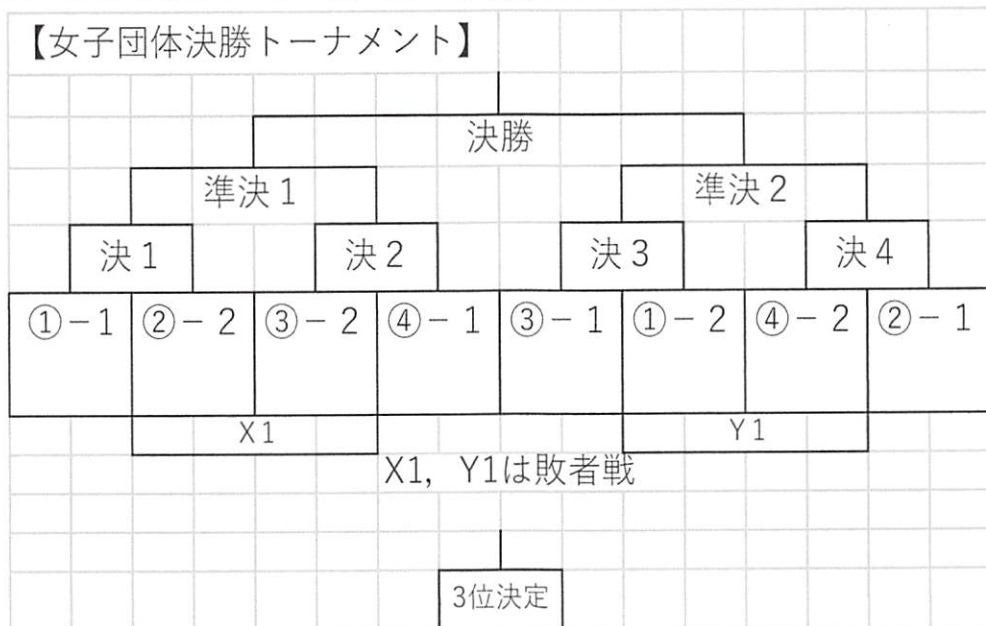
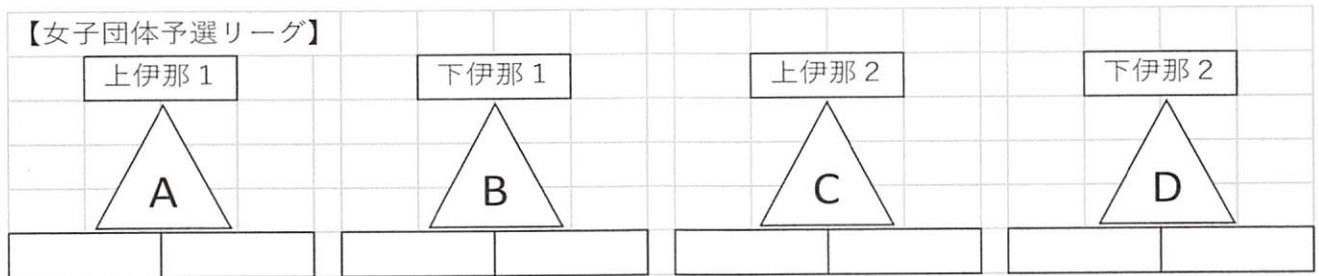
8 組み合わせ

- ・各郡の予選会については、団体戦、個人戦の試合方式や組合せを出場校数が確定した後、各地区専門委員会・顧問者会の順で決定していく。
- ・各予選会場では、各地区専門委員会及び顧問者会で承認された独自の特別規則で運営されることもある。
- ・決勝会場では、団体戦は予選リーグを行い、各リーグ上位2位のチームによる決勝トーナメントを行う。個人戦は、64名のトーナメントで試合を行う。

▼決勝会場・男子団体戦 予選リーグの後、決勝トーナメント



▼決勝会場・女子団体戦 予選リーグの後、決勝トーナメント



※男女ともに3位決定戦を行い、1～4位までの順位を決定する

9 申込み

(1) 各予選会について

- ・各予選会の申し込みについては、各地区の代表者会で示された期日で①データでの送付と②職印をついた原本の2つの申込みを行う。
- ・申し込みデータは、長野県中学校体育連盟ホームページ（<https://n-ctr.sakura.ne.jp/>）にある【令和6年度南信地区夏季大会】→【卓球】より形式をダウンロードして文書を作成する。

(2) 決勝会場について

- ・各予選会の競技委員長が一括して申し込む。（各学校で申し込む必要はありません。）
- ・各予選会から決勝会場において、団体戦の登録選手変更や個人戦のアドバイザーを変更する場合は、長野県中学校体育連盟ホームページ（<https://n-ctr.sakura.ne.jp/>）の【令和6年度南信地区夏季大会】→【卓球】より形式をダウンロードして文書を作成し、下記のメールアドレスへデータファイルで送る。職印をついた原本は、当日の朝に本部へ必ず提出する。

団体戦の登録選手変更・個人戦アドバイザー変更の送信先：

usamikazuya2012@yahoo.co.jp

【問い合わせ】〒395-0061 長野県飯田市正永町1丁目1215番地

TEL.0265-22-0143

飯田市立飯田西中学校 宇佐見和也

- ・データファイル申し込みの後、必ず確認の返信メールを出します。3日経過しても返信が来ない場合は飯田西中学校：宇佐見までお問い合わせください。

10 その他

- ・決勝会場の実施要項については、上記の長野県中学校体育連盟ホームページに掲載する。事前の郵送配布や当日配布は行わないため、必要な箇所については各校であらかじめ印刷して、生徒に配布する。